

— 保証書 —

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	保証期間	お買上げ日
バキュームクリーナー VAC 950G	お買上げの日から1年	平成 年 月 日
お客様	ご芳名	
	ご住所	〒
	お電話	
販売店	住所・店名	
	電話	()

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼布ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合にはお買上げ販売店(修理申出先)が無料修理致します。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買上げの販売店(修理申出先)に依頼してください。
 - ご転居の場合は、事前にお買上げ販売店にご相談ください。
 - ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、下記の所へご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②お買上げ後の取付場所の移動、落下等による故障及び損傷
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ④一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤本書の提示がない場合
 - ⑥本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合。或いは字句を書き替えられた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせ下さい。

取扱店

WET/DRY 吸じん&ブロー バキュームクリーナー VAC-950G 取扱説明書



このたびはバキュームクリーナーをお買上げいただきましてありがとうございます。ご使用に際しては必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。お読みになったあとは必ず保存してください。

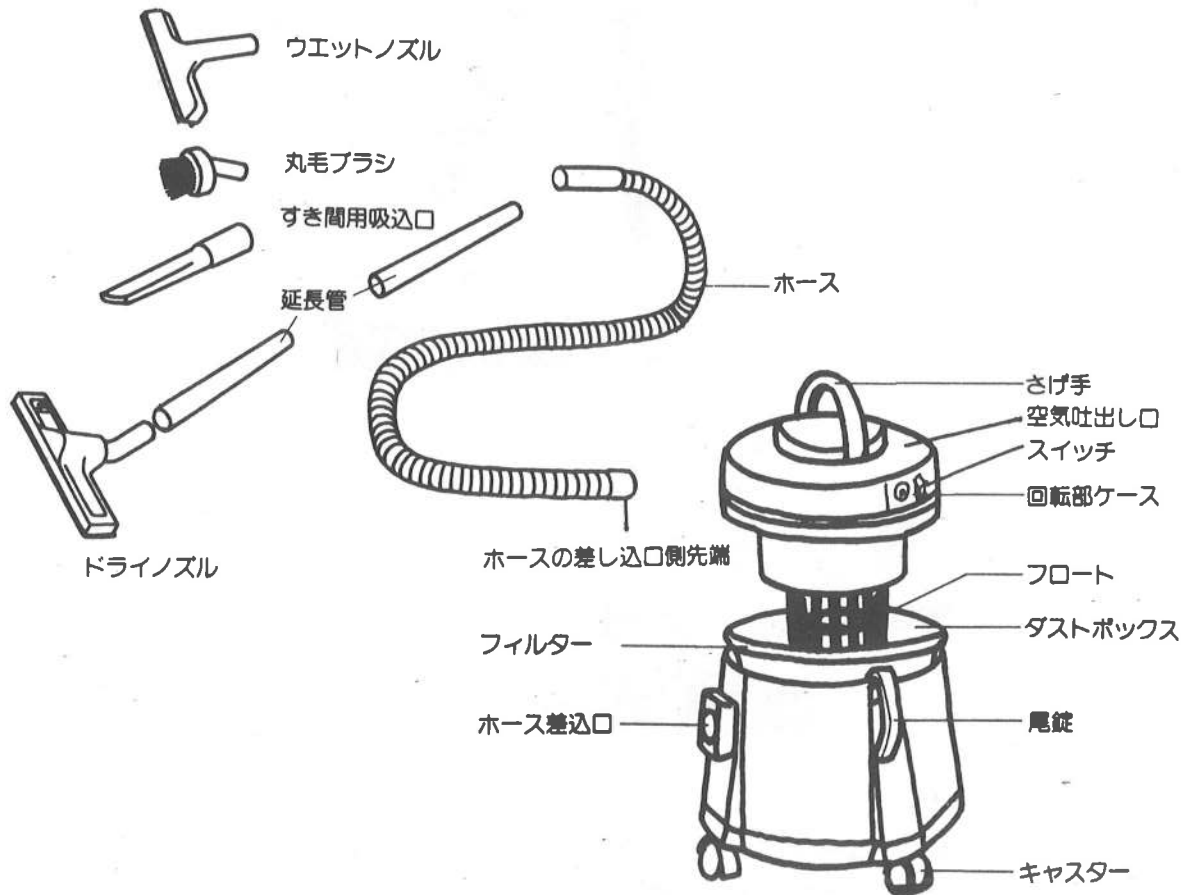
株式会社
SHINKO 新興製作所

東京都千代田区神田紺屋町11番地
郵便番号101 電話 東京03(3252)8861(代)

■電動工具ご使用についてのご注意

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。100V用のものを間違えて、200Vの電源に接続し、運転しますとモーターの回転が異常に高速となり、機体が破壊するおそれがあります。
- お使いになる前にコード線や電源プラグを点検して下さい。コード線やプラグを傷んだまま使用しますと、事故原因となります。
- コード線の上に重い物や刃物等を置かないで下さい。万一、コード線が損傷したときは、すぐ新品と交換するようにして下さい。
- 感電事故防止のため、モーター部には水を入れないで下さい。使用後、モーター部の水洗いは絶対にしないで下さい。
- ご使用後は必ず電源プラグを抜いて下さい。又、故障のときなどもすぐに電源プラグを抜くようにして下さい。
- 使用後は本機を掃除して屋内にて保管して下さい。屋外に放置して、風雨にさらしますと、故障の原因となります。

■部品の名称



■本機の構造について

- 本機はゴミ、ホコリ、砂から水まで吸い込む構造になっています。
- モーターには温度上昇保護装置がついています。モーターに過負荷がかかると、自動的に運転が停止します。
- フロートが付いていますので、ダストボックスに水が満杯になると、吸い込みが自動的に停止します。
- 特殊フィルターがついていますので、衛生的です。
- モーターは整流子モーターを使用していますので、回転音が若干高くなっています。又、カーボンブラシを使用していますので、内部の接触部で小さな火花が見えることがあります。(何れも故障ではありません。)

■仕様詳細

型番	VAC-950G
電圧	100V
周波数	50/60Hz
消費電力	950W
電流	10.2A
真空度	1450mm/H ₂ O
吸込仕事率	150W
風量	1.73m ³ /min
タンク容量	DRY 24ℓ / WET 16ℓ
コードの長さ	5m
重量	7.2 kg
寸法	370×370×470(H)mm

■ご使用についてのご注意

- 引火性の強いもの、刃のついたもの、針などは危険ですので吸い込ませないで下さい。
- 溶剤、粘度の高いものを大量に吸い込ませますと、付着して故障の原因となりますので、吸い込ませないで下さい。
- 大きな固形物は、ノズル・パイプの中につまることがあります。吸い込ませないで下さい。
- 洗剤、油等を吸い込ませたときは、早目に捨てて下さい。
- 引火性のものを置いてある場所では使用しないで下さい。
- フィルターをセットしないで使用しますと、ゴミが外に飛び出しますので、必ずセットしてからご使用下さい。
- 本機は防水型ではありません。上部の回転部の水洗いはしないで下さい。又、屋外の雨の中でのご使用はさけて下さい。
- フィルター、ノズル、パイプは定期的に点検し、ゴミを取除いて下さい。

- 汚れたもの、粘度の高いものを吸い込ませたときは、すぐにフィルターを水洗いして、乾燥させて下さい。
- タンクの中にゴミや汚水を入れたまま放置しますと、悪臭が発生することがあります。ご使用後はゴミや汚水を捨てて下さい。
- ご使用後は、きれいに掃除をして、乾いた場所に保管して下さい。

■セット方法

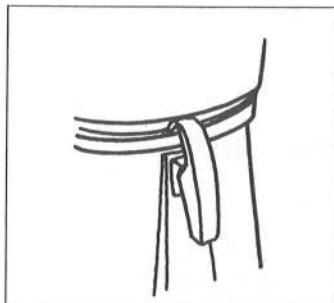
①回転部ケースとダストボックスのセット方法

- ダストボックスの淵に、フィルターの淵を重ね合わせる様にしてから正確に差し込んで下さい。



③尾錠のセット方法

- 尾錠は上に上げるとはずれます。下におろすとセットされます。淵と溝とが正しく合わないとセットしにくい場合があります。



④ホースの差し込み方法

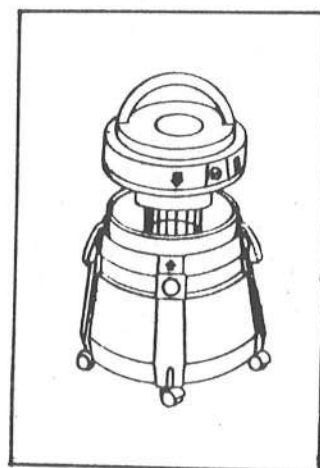
- ホースの先端を、本体ダストボックス側のホース差し込み口に挿入して下さい。



②ダストボックスと回転部ケースのセット方法

- ダストボックスのホース差し込み口上部の↑印に回転部ケースの↓印を合わせてセットして下さい。

(電源コードはホース差し込み口の後面になります)。



■先端ノズル・ブラシのご使用について

ドライノズル

乾いたゴミを吸うときにご使用下さい。



ウェットノズル

水や液体を吸うときにご使用下さい。



すき間ノズル

狭いところにご使用下さい。



丸毛ブラシ

敷居やサンなどにご使用下さい。



■フロートのご説明とご注意

- フロート(回転部底のカバーの中に入っている円筒形のものは、ご使用中にダストボックスの中の水が、一定量以上になると、吸い込みを停止させる装置です。
- スイッチを切り、水などを取り除くと正常にもどります。
- 【注】フロートは、本機を使用中に横に倒れたり、強く横振れなどを加えますと、ダストボックス中の水の量に関係なく作動します。
- フロートが作動しますと、異常音が発生し、吸い込み力がなくなります。
- フロートが作動した時は、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて回転を停止させて下さい。ダストボックスの中をきれいにして、改めてスイッチを入れれますと、正常にご使用いただけます。



↑
フロートはこの中に入っている円筒形のもので、

【注】フロートが作動したまま連続使用したり、放置しますとモーターに負荷がかかり、本機内の温度が急上昇して、破損につながりますので充分ご注意下さい。

【注】ダストボックスの中に吸い取った水をそのままにして横倒ししますと、本機のファン部に水が入ることがあります。万一、水が入ったときは、内部点検をしてからご使用下さい。

■ホース、ノズル、フィルターについてのご注意

- ホース、ノズルにゴミがつまると、吸引力がなくなり、異常音が発生して本機内の温度が上昇します。故障の原因ともなりますので、すぐに取り除いて下さい。
- 粘度の高いものを吸い込ませたとき、フィルターに大量のゴミが付着したときは、吸引力がなくなります。本機内の温度が上昇して故障の原因となりますから、ご注意下さい。

■温度上昇保護装置のご説明とご注意

- 温度上昇保護装置は、万一、モーターに過負荷がかかり、温度が上昇すると電源が切れ、温度が下がると自動復起する安全装置です。
- 温度上昇保護装置が作動して運転が停止したときは、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。
- 温度上昇保護装置は、作動してから10分位経過しますとモーター温度が下がり、正常運転が出来ますので、本機を点検し異常がないことを確認してから再びスイッチを入れるようにして下さい。

【注】 温度上昇保護装置が作動したままの状態、本機を放置しますと、突然自動復起して思わぬ事故につながる可能性がありますのでご注意下さい。

■吸引力が弱いときは次の事項を確認して下さい。

- ホースの差し込み、フィルターが正しくセットできていないと、エアがもれて吸引力が上がらない場合があります。
- 上部回転部のケースと、下部ダストボックスが正しくセットされていないと、エアがもれて吸引力は上がりません。
- ノズル、ホースにゴミがつまっているとき、フロートが作動したときは極端に吸引力が弱くなります。(注)フロートについては、別項を参照して下さい。
- 温度上昇保護装置が作動したときは、電源が切れて、モーターの回転が停止します。(注)温度上昇保護装置については、別項を参照して下さい。

■ブローとしてご使用の場合

- ホースの差し込み口側の先端を、回転部ケースの空気吐出し口に接続しスイッチを入れて下さい。ブローとして使用できます。

